

【公民館編】

このシートは、

2019

調査実施分

No.

52

2018

ファシリティコスト分

58,462 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

平成31年度

施設名	中央公民館			
-----	-------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	52
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	社会教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	朝日町5丁目1番地1 (東部)	敷地面積	11,130 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和49年度
建物構造	RC	延床面積	1,520 m ²	経過年数	45年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	608,000千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	10,400円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態				
		28,601人	28,831人	29,839人	29,090人	市直営			
ファシリティコスト 平成30年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等		1,530	支 出	修繕料		5,595	
		国費		-		①施設維持コスト	火災保険料		-
		道費		2,000		維持管理委託料		-	
		その他		-		敷地借上料		-	
		市費(一般財源)		-		工事請負費		-	
	合 計			3,530	その他維持費		4,147		
					小 計		9,742		
					②施設運営コスト	人件費		1,624	
						光熱水費		3,872	
				運営委託料			8,433		
				その他運営費			-		
				小 計		13,929			
				合 計(①+②)		23,671			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	814円/人		405円/人		15,573円/m ²				



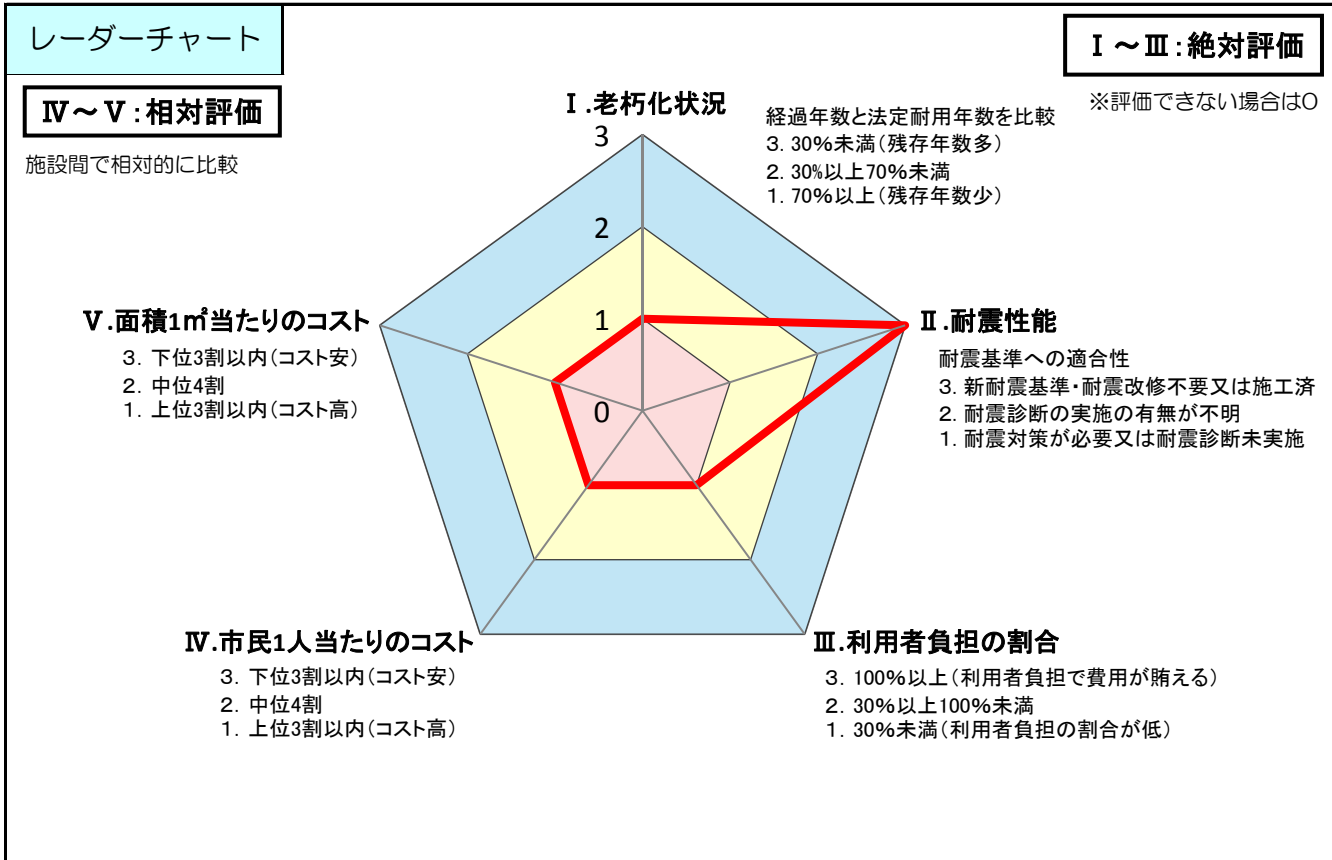
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H7	大集会室内部改修	9,116	H30	排煙用発電機更新工事	5,379
H8	屋上防水改修	20,806			
H8	暖房機器更新	17,716			
H11	談話室コーナーガラスシーリング工事	1,155			
H13	受変電設備改修	3,780			
H14	IT研修室整備	1,050			
H15	便所改修	735			
H17	重油タンク更新	1,103			
H17	倉庫改修	1,481			
H26	大規模改修	275,454			

5 特記事項

運営委託料は維持管理委託料に含む。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	90 (%)
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	6 (%)
IV.市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	405 (円/㎡)
V.面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	15,573 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

このシートは、

2019

調査実施分

No.

53

2018

ファシリティコスト分

58,462 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

平成31年度

施設名	西の里公民館		
-----	--------	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	53
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	社会教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	西の里南1丁目2番地4 (西の里)	敷地面積	2,371 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	西の里出張所、図書館西の里分室、西の里学童クラブ			建築年度	昭和51年度
建物構造	SRC	延床面積	483 m ²	経過年数	43年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	193,200千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	3,305円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態				
		4,654人	4,602人	4,517人	4,591人	市直営			
ファシリティコスト 平成30年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等		160	支 出	修繕料		270	
		国費		-		①施設維持コスト	火災保険料		-
		道費		-		維持管理委託料		-	
		その他		-		敷地借上料		-	
		市費(一般財源)		-		工事請負費		-	
	合 計			160	その他維持費		-	小 計	270
					②施設運営コスト	人件費		-	
					光熱水費		1,340		
					運営委託料		-		
		その他運営費				-			
				小 計		1,340	合 計(①+②)	1,610	
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	351円/人		28円/人		3,333円/m ²				

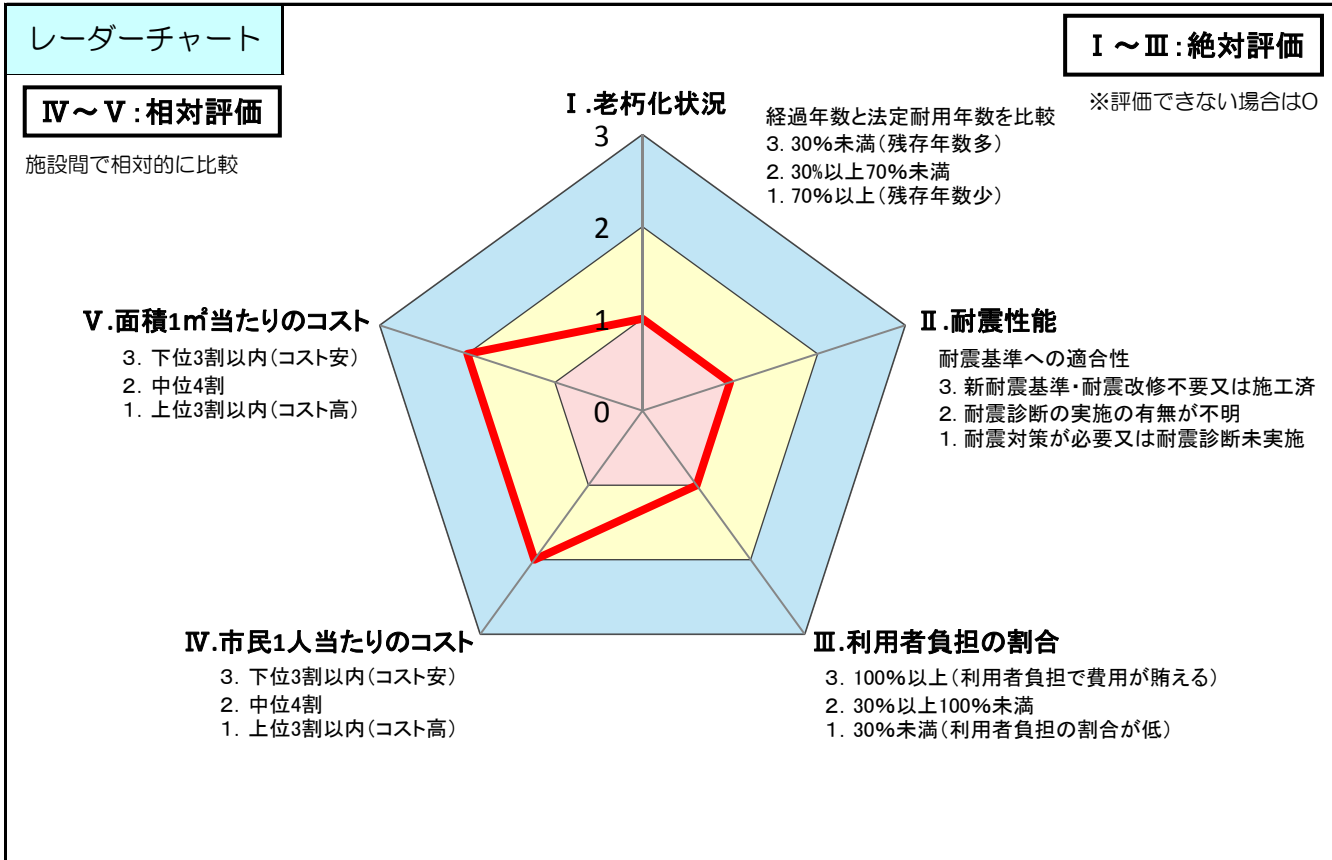
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H10	ボイラー室機械設備撤去	483			
H15	公民館増築工事	20,475			
H24	自動ドア修繕	347			
H25	ストーブ排気筒移設等修繕	182			
H27	石油ストーブ取付	116			
H27	PP花ござ敷き替え	151			

5 特記事項

H28管理委託料830千円は西の里公民館図書室分

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	86 (%)
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	対策が必要
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	10 (%)
IV.市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	28 (円/㎡)
V.面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,333 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有していない恐れがある(II)。</p> <p>利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	